

野外におけるミシシippアカミミガメの摂餌行動の目撃例

三根佳奈子・谷口真理

654-0049 兵庫県神戸市須磨区若宮町1-3-5 神戸市立須磨海浜水族園

Records of *Trachemys scripta elegans* feeding in the wild.

By Kanako MINE and Mari TANIGUCHI

Kobe Suma Aquarium, 1-3-5, Wakamiya, Suma, Kobe, Hyogo, 654-0049, Japan

兵庫県内の野外においてミシシippアカミミガメ(以下、アカミミガメ)の摂餌を目撃したので報告する。摂餌を目撃したのは、以下の通りである。

1. 2014年6月24日、明石市魚住町清水付近の瀬戸川で、堰堤に堆積した藻類を摂餌している様子を確認した(図1上左)。また、同日、同河川で水面に浮かぶフナの死体をついばむ様子を確認した(図1上右)。

2. 2015年5月25日、加古郡播磨町の狐狸ヶ池においてガガブタ *Nymphoides indica* の茎を摂餌する様子を確認した(図1下左)。

日本におけるアカミミガメの食性は甲殻類、昆虫類、植物、魚類、貝類、鳥類を摂餌すると報告されているように、その食性は植物から動物まで幅広いようで(上野他, 2014)、今回の事例においてもそれが示された。注目したいのは、ガガブタを捕食していたことである。本種は環境省レッドリストにおいて準絶滅危惧種に指定され、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種とされるが、アカミミガメの捕食によりガガブタが絶滅危惧に移行する可能性は十分に考えられる。



図1. 藻類をつつくアカミミガメ(上左)、フナの死肉を食べようとするアカミミガメ (上右)、ガガブタを捕食するアカミミガメ(下左)、明石市瀬戸川にて(上)、播磨町狐狸ヶ池にて(下)

引用文献

上野真太郎・笹井隆秀・石原孝・谷口真理・三根佳奈子・亀崎直樹. 2014. 日本に産するカメ類の食性(総説). 爬虫両棲類学会報 2014(2): 146-158.